

2018（平成30）年度

事業報告書

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

公益財団法人日本室内楽振興財団

はじめに

本年度は、2020年5月に開催される第10回「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の審査員の選任や日程を含む開催及び募集に関する要綱を策定し、今年の3月8日には、参加者募集の記者発表を行うとともに国内外の音楽雑誌への広告掲載やホームページをとおして、開催予告や参加団体の募集開始の告知を開始しました。

「グランプリ・コンサート2018」では、第9回「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」第2部門の優勝団体「クワチュオール・ザイール」（サクソフォン四重奏）をフランスから招聘し、全国10地区で公演を行いました。

また、室内楽の演奏活動及び教育普及活動に対する助成事業や調査・研究事業及び広報誌の発行を行いました。

公 1

I. 事業の状況

(1) 国際的な室内楽コンクールの開催に関する事業 (15,571千円)

2018(平成30)年度は、以下のような事業を実施しました。

1. 第10回「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の開催要項の決定

- a. 期 間 2020年5月15日(金)～2020年5月22日(金)
- b. 会 場 いずみホール、
高岡文化ホール・三重県文化会館(フェスタ1次ラウンド)
- c. 主 催 公益財団法人 日本室内楽振興財団
- d. 後 援 外務省、文化庁、大阪府、大阪市、日本演奏連盟、いずみホールほか
- e. コンクール部門の実施内容

(1) 演奏部門

第1部門：弦楽四重奏

第2部門：ピアノ三重奏及びピアノ四重奏

(2) 応募資格

コンクール開催時35歳以下の演奏家で編成されたアンサンブル。

(3) 課題曲

第1部門・第2部門とも古典的から近現代の楽曲まで幅広く課題曲に加え、国際的に名声の高い日本人作曲家の作品も含まれています。特に第1部門では、2020年に生誕250年を迎えるベートーヴェンに焦点を当て、全ての弦楽四重奏曲(16曲)を課題曲に含めました。

(4) 審査委員

室内楽に造詣の深い次の音楽家に委嘱しました。★は過去の優勝団体のメンバー

- 堤 剛 (審査委員長) <日本/チェリスト、サントリー芸術財団代表理事>
- マーティン・ビーヴァー <カナダ/ヴァイオリニスト、元東京クワルテット>
- 澤 和樹 <日本/ヴァイオリニスト、東京藝術大学学長>第一部門のみ
- イーウェン・ジャン <アメリカ/ヴァイオリニスト、上海クワルテット>
- モニカ・ヘンシェル★ <ドイツ/ヴァイオリニスト、ヘンシェル・クワルテット>
- 元渕 舞 <アメリカ-日本/ヴァイオリニスト、ボロメーオ弦楽四重奏団>
- アラスデア・テイト★ <イギリス/チェリスト、元ベルチャ・クワルテット>
- ヴァンサン・コック <フランス/ピアニスト、トリオ・ヴァンダラー>
- エッカルト・ハイリガーズ★ <ドイツ/ピアニスト、トリオ・ジャン・ポール>
- 練木 繁夫 <日本/ピアニスト、桐朋学園大学教授>

※弦楽器の審査委員は両部門、ピアノの審査委員は第2部門のみ審査

(5) 審査ラウンド

予選(1次～3次)及び本選 ※3次予選は第1部門のみ実施

(6) 賞金

第1部門、第2部門とも

第1位／300万円、第2位／150万円、第3位／100万円、特別賞／委嘱新曲賞（20万円）の他、提携協力した海外のフェスティバルやコンサートの参加

f. フェスタ部門の実施内容

(1) 演奏部門

2人から6人までの器楽奏者で編成されるアンサンブルで、楽器の組合せは自由。

(2) 応募資格

年齢、国籍を問いません。

(3) 演奏曲

自由（課題曲は定めません）。但し、演奏時間は25分以内とします。

(4) 審査ラウンド

1次ラウンド：高岡文化ホール・三重県文化会館で実施

セミファイナル及びファイナル：いずみホールで実施

(5) フェスタ審査員

梅本 俊和（審査員長） <日本／ピアニスト、大阪音楽大学名誉教授>

河野 正孝（副審査員長） <日本／オーボイスト、関西室内楽協会代表>

呉 信一（副審査員長） <日本／トロンボニスト、東京音楽大学教授>

上記3名に加え事前に公募した一般聴衆で、トーナメント方式で審査を行います。

(6) 賞金

メニューイン金賞／200万、銀賞／100万、銅賞／50万、ファイナリスト賞／20万、フォークロア特別賞／20万

g. その他

(1) 旅費・宿泊費の支援

海外からの参加者の経済的負担を軽くするため、コンクール参加者には、往復のエコノミーチケット（チェロ席分も含む）を提供し、フェスタ参加者には15万円（アジアから参加の場合は、その半額）を補助します。また参加機関の宿泊代は、主催者が負担します。国内参加者についても交通費の一部補助及び宿泊代の負担を行います。

(2) 参加団体数

第1部門・第2部門ともに10団体を、フェスタは18団体を予定しています。

(3) 募集期間

コンクール、フェスタともに2019年4月1日から10月10日までの期間。

(4) 披露演奏会

コンクール及びフェスタの優勝団体は、本選終了後の5月24日に大阪（いずみホール）で開催する披露演奏会に出演する。また、コンクールの優勝団体は、その翌日に東京（サントリーホール・ブルーローズ）で開催する披露演奏会に出演する。

2. 第10回記念大会に相応しい新たな試みを策定

節目となる第10回記念大会に向け企画された次の事業の準備を進めました。

(尚、上記1の第10回コンクール&フェスタの開催要項と一部重複しますが、10回大会のポイントとなる為、その主眼点を記します。)

a. 過去の優勝団体のメンバーからの審査委員を招聘

第1回～第3回大会で優勝した団体から3名の審査委員を招聘します。その内2名は、所属のアンサンブルの中心メンバーとして各国で演奏活動を続け、1名は退団後も世界の著名な音楽ホールでの演奏や室内楽の指導、更には国際コンクールでの審査委員等を歴任しています。

b. 課題曲として弦楽四重奏曲の新作委嘱

第1部門3次予選の課題曲として、作曲家望月^{みさと}京氏に新作を委嘱しました。3次予選での演奏が世界初演となります。

c. 海外の室内楽コンクールやフェスティバルとの提携協力

参加団体のコンクール後のキャリア支援を実施するため、『ニンフェンブルグ宮殿の夏』室内楽祭（ドイツ）、クワチュオール・ア・ボルドー（フランス）、ストリング・クァルテット・ビエンナーレ・アムステルダム（オランダ）との提携協力を進めました。

d. フェスタ1次ラウンドの大阪以外の都市での実施

室内楽の魅力や楽しみが多く聴衆にも分かり易いフェスタを大阪以外の都市でも展開するため、高岡文化ホールと三重県文化会館のご協力を得て、フェスタ1次ラウンドを開催します。

e. 事前PRとしてコンサートシリーズの実施

コンクールのプレ・イベントとして、2019年5月から2020年4月の間に、過去に優勝/準優勝した弦楽四重奏団5団体によるコンサートシリーズ『世界をリードする弦楽四重奏の

饗

宴』（ザ・フェニックスホール）を開催する準備を進めました。

3. 募集要項及び申込書の作成

開催要項及び課題曲が決定しましたので、募集要項及び申込書を、和文・英文・仏文で作しました。殊にフェスタの審査方法がトーナメント方式で実施されるため、図形を交えて具体的説明しております。

4. ホームページの更新

募集要項の改正内容を反映したホームページを3月初めに立ち上げました。新たなホームページには、英語・日本語の募集要項と申込書を掲載しました。

5. 記者発表の実施

平成31年3月8日(金)にホテルニューオータニ大阪で、東京・大阪の音楽関係の新聞雑誌記者を招き、開催要項、コンクール審査委員、課題曲等を発表しました。

第10回コンクール&フェスタの日程別開催内容

2020年5月

日 程	第1部門	第2部門	フェスタ	審査委員他
13日(水)	参加団体来日 説明会	参加団体来日 説明会		審査委員来日
14日(木)	参加団体 サウンドチェッ ク	参加団体 サウンドチェッ ク		審査委員会議
15日(金)	1次予選		(参加団体来日) 説明会	
16日(土)		1次予選	他都市会場に移動	
17日(日)	2次予選		1次ラウンド (高岡・三重)	
18日(月)		2次予選	大阪に移動	
19日(火)	3次予選			
20日(水)			セミファイナル ・ファイナル (いずみホール)	
21日(木)		本 選		
22日(金)	本選・表彰式	表彰式	表彰式	
23日(土)				審査委員による スペシャル・ コンサート
24日(日)	披露演奏会 (大阪)			
25日(月)	披露演奏会 (東京)			

公 1

(2) 室内楽の演奏会の開催 (12, 942千円)

2018(平成30)年度は11月7日～11月25日の期間に以下の事業を実施しました。

1. 「グランプリ・コンサート2018」の開催

2018年は、第9回「大阪国際室内楽コンクール」第2部門(管楽アンサンブルの部)で優勝した「クワチュオール・ザイール」(フランス)を招聘して実施しました。今回は、初めてとなる「金沢21世紀美術館シアター21(金沢公演)」、「葉山町福祉文化会館ホール(葉山公演)」を含め、国内10会場での開催となりました。またその他の活動として、大阪公演前日には大阪府立夕陽丘高校で、益城町立広安西小学校で行われた熊本公演終了後には、小学生と高校生対象のワークショップを行いました。更に葉山公演の前日には、葉山小学校で小学生対象のミニコンサートを行いました。各会場に足を運ばれたお客様からは、「貴重なサクソフォン四重奏の演奏が聴くことが出来て良かった」、「伸びやかな音色が素敵だった」、「プログラム構成が良く楽しく聴くことが出来た」などの感想を数多く頂き、演奏者もまた聴衆の暖かい反応と各会場や主催者対応に感謝を述べ、帰国の途につきました。入場者数は、10公演で3870名(アウトリーチを除く)となりました。

2. 出演:「クワチュオール・ザイール」(フランス)



公演日程（2018年）

月日／曜日	公演名	会場
11月 7日（水）	金 沢	金沢 21 世紀美術館シアター 2 1
11月 8日（木）	高 岡	高岡文化ホール 大ホール
11月12日（月）	大 阪	いずみホール
11月14日（水）	三 重	三重県文化会館 大ホール
11月17日（土）	葉 山	葉山町福祉文化会館ホール
11月18日（日）	東 京	トッパンホール
11月20日（火）	鳥 取	鳥取市文化ホール
11月21日（水）	広 島	庄原市民会館
11月23日（金）	大 分	くにさき総合文化センター アストホール
11月25日（日）	熊 本	益城町立 広安西小学校 体育館

全国協賛：大和ハウス工業株式会社

全国助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

全国協力：野村證券株式会社

公 2

（3）室内楽に関する各種活動への助成（2,995千円）

2018(平成30)年度は選考委員会で決定した以下の事業に助成金を交付しました。

2018(平成30)年度助成金交付事業

(単位：円)

	事業名	申請者	開催地	金額
1	プティ シンフォニーの競演	公益社団法人アンサンブル神戸 矢野 正浩	大阪 ムラマツリサイタル ホール	250,000
2	古庭園・大人ライブ Vol. 43 ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会7	ながらの座・座 橋本 敏子	滋賀 大津市ながらの座・座	100,000
3	ICEP2018 日本 訪問プログラム 報告コンサート	特定非営利活動法人 ミュージック・シェアリング 理事長 五嶋 みどり	大阪 ザ・フェニックスホール 東京 ヤマハホール	400,000
4	Music Dialogue ティスカバリー・シリーズ 2018-19	一般社団法人 Music Dialogue 大山 平一郎	東京 南麻布セントレホール 京都 京都国立博物館講堂	400,000
5	直方谷尾美術館室内楽定期演奏会 第 31,32,33,34 回	かんまーむじーくのおがた 渡辺 伸治	福岡 直方谷尾美術館	300,000
6	コロネット室内楽シリーズ 「アンサンブル天下統一 2018」	SPS 株式会社 代表取締役社長平井弓子	愛知 岡崎市シビックセンター 「コロネット」	300,000
7	ベルギーの至宝・イザイ生誕 160 周年記念 "Ysaye Japan" 北九州公演	日本イザイ協会 永田 郁代	福岡 北九州市立響ホール	250,000
			合 計	2,000,000

公 3

(4) 広報誌の発行に関する事業 (4, 375千円)

2018(平成30)年度は、以下のとおり広報誌「奏」を刊行しました。

- ・「奏」49号 4月27日発行 2,000部
- ・「奏」50号 10月25日発行 2,500部

各号とも音楽業界、学校、会館及び財団関連企業等に配布しました。

公 3

(5) 調査研究に関する事業 (2, 062千円)

2018(平成30)年度は、以下の事業を実施しました。

年度中3回の調査研究事業委員会を開催し、2019年度から以下の調査研究を行うことを決定しました。

1. アジア地域での室内楽及び民族音楽に関する調査研究
2. 「室内楽との触れ合いの場」創出に関する研究事業